

科目名	研究入門				
担当教員名	神保 雅人				
学部等	サービス創造学部	開講学期	2024年度春学期		
ナンバリング	SI-SEM1001	学年	1年	単位	2単位
講義名	研究入門				
先修科目					

この授業を通じて身につける<CUC 6つの能力要素>		(主として身につけるもの「◎」を1つ、身につけるもの「○」を2つ以内)			
専門的な知識・技能		普遍的な知識・技能		相互理解・コミュニケーション力	◎
チャレンジ精神・実践力		主体性・責任感	○	社会規範意識・誠実さ	○
CUC6つの能力要素詳細	<a href="https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/educational_policy/ability/index.html">https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/educational_policy/ability/index.html</a>				

**科目概要**

この授業は、皆さんがサービス創造学部の学生として大学生活を有意義に過ごせるよう、大学での学びを高める、読む、書く、聞く、話すといったコミュニケーション・スキルについて学んでいきます。その意味で、この授業では皆さんの今後の大学生活や進路についても考えることができる機会を提供したいと考えています。

**科目の到達目標**

この授業での基本的な到達目標は以下の3点です。

- ・ 正しい学習習慣、態度を身につけること
- ・ 基本的なコミュニケーションを行えるようにすること
- ・ ここでの学びを大学の講義や研究科目、プロジェクト科目に活かすこと

**授業の特徴（指定科目のみ掲載）**

**履修上の注意**

担当教員から指示がありますのでそれに準じ、受講してください。なお、施設のツアーなどはクラスによって日程が異なり、授業計画の順序が変更される場合があります。

実務経験を活かす授業		実務経験内容等	
------------	--	---------	--

<b>ICTを活用する授業</b>					
資料や課題を配信するためにWebシステムを活用する	○	教員と学生の連絡でCUC PORTAL等を活用する	○	その他	PCを活用し、授業を進めていきます。

<b>データを活用する授業</b>					
データ分析を行う		外部機関（企業等）のデータ活用する		その他	

<b>アクティブ・ラーニングの要素</b>					
グループワーク	○	プレゼンテーション	○	実習、実技、フィールドワーク	
PBL（課題解決型学習）	○	双方向型学修（クリッカー等）		ディスカッション・ディベート	○
反転授業		その他			

<b>授業計画</b>			
授業回	各回の概要	各回の事前事後学修	事前事後学修時間
第1回	「サービス創造学部の理解と学生としての取り組みについて、また、スタディ・スキルズについて」 本授業は小人数の初年度教育です。特に、皆さんが本学部の学生として主体的に授業に取り組めるようになることを目指します。なお、学期の終わりに振り返りを行います。	事前学修として、高校で自分は何を学んできたか、大学では何を学んでいきたいかを書き出してください。 事後学修として、今回学んだ学部の3つの学び及びスタディ・スキルズについて整理してください。	3.5時間
第2回	「授業の受け方と学習法1」 大学の授業形態は担当教員によって異なります。その意味で、どのように大学で学習を行うかはこれからの皆さんの大学生活に直結します。	事前学修として、これから学ぶ授業科目について確認してください。 事後学修として、今回学んだノート・テイキングの	3.5時間

	どの様な授業形態があるかを理解したら、まずは講義形式の授業で必要となるノート・テイキングについて学んでください。	工夫について実際に活かせるように整理してください。	
第3回	「授業の受け方と学習法2」 大学の授業では教科書以外にも様々な文献を読み込んでいく必要があります。そのために必要となるリーディングスキルについて学んでください。	事前学修として、これまで文章を読む際に何を心掛けて来たか書き出してください。 事後学修として、今回学んだリーディングスキルについて整理してください。	3.5時間
第4回	「授業の受け方と学習法3」 文章を理解するために必要となる、より深いリーディングについて学んでください。	事前学修として、文章にはどのような種類のものがあるのか書き出してください。 事後学修として、新聞記事などの身近な文章を要約する練習をしてください。	3.5時間
第5回	「図書館ツアー」 皆さんの大学の4年間において、大学の図書館の活用は授業の予習や復習、課題レポートの作成、さらには卒業論文の作成には必須となります。図書館の施設の基本的な利用法を早いうちから学んで理解してください。	事前学修として、図書館の施設の紹介ページに目を通してください。 事後学修として、今回学んだそれぞれの施設の基本的な利用法を整理してください。	3.5時間
第6回	「授業の受け方と学習法4」 レポートや論文を書く際に必要となるライティングスキルの基本について学んでください。また、参考文献の扱いについて学んでください。	事前学修として、これまでどの様にレポートを書いて来たのかを振り返って、要点を書き出してください。 事後学修として、今回学んだライティングスキルの基本について整理してください。また、図書館のページで検索をして、何冊かの文献の書誌データを参考文献として挙げる際の書式で書き出してください。	3.5時間
第7回	「グループワークについて」 グループワークを実施するに当たって必要となる、意見の集約や合意形成、リーダーシップについて学んでください。また、担当教員の指示に従い、与えられたテーマで、グループワークを通じて議論を進展させ、各グループで結論を出す練習をします。	事前学修として、これまでグループで話し合う際に何を心掛けてきたかを振り返って、要点を書き出してください。 事後学修として、今回グループワークについて学んだ内容を整理してください。	3.5時間
第8回	「グループワーク1（時事問題）」 担当教員の指示に従い、大学の図書館やインターネットから情報を収集し、その情報を整理したうえでグループワークを通じて、議論を進展させ、各グループで結論を出します。	事前学修として、最近の世の中の動きについて、新聞記事やインターネット上のニュースで情報を収集してください。 事後学修として、今回議論を行った内容についてしっかりと整理してください。	3.5時間
第9回	「グループワーク2（身近なサービス）」 担当教員の指示に従い、大学の図書館やインターネットから情報を収集し、その情報を整理したうえでグループワークを通じて、議論を進展させ、各グループで結論を出します。	事前学修として、よく利用するサービスの特長を書き出してください。 事後学修として、今回議論を行った内容についてしっかりと整理してください。	3.5時間
第10回	「特命教授（企業）から学ぶ(新規性のあるサービス)」 本学部の特命教授（あるいは公式サポーター企業）からゲストスピーカーを招聘し、これからの世の中が必要とする新しいサービスや同社の経営戦略についてご講話いただき、学びます。	事前学修として、本学部の特命教授や公式サポーター企業各社を調べてください。ゲストスピーカーの企業が属する業界や企業についてインターネット上の情報を入手し、要点を書き出し整理してください。 事後学修として、今回聴講した内容についてしっかりと整理してください。	3.5時間
第11回	「春学期の振り返り」 春学期を振り返って、ルーブリックと呼ばれる自己確認シートへの記入を行います。	事前学修として、これまでの学修や活動を振り返って、自己評価を書き出してください。 事後学修として、春学期の振り返りに基づいて、今後の目標を設定してください。	3.5時間
第12回	「プレゼンテーションについて」 グループワークで結論を出すことができたならば、次のステップとしてそれを他者に分かりやすく伝えることが必要となります。その手段としてのプレゼンテーションの基礎について学び、次回に行う発表用の資料を作成します。	事前学修として、これまでのグループワークの成果をまとめてください。 事後学修として、発表用の資料について担当教員から指摘を受けた箇所を修正してください。	3.5時間
第13回	「発表会」 研究入門の集大成として、グループワークの成果を発表します。	事前学修として、発表の練習をしてください。 事後学修として、これまで学んだ内容をこれからの授業及び大学生活に活かせるよう整理してください。	3.5時間

成績評価の方法	授業への貢献度(60%)、課題提出(40%)
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	授業終了後のレポートまたは課題については、逐次内容の総評を行います。

テキスト・教科書	特になし
参考文献	学習技術研究会/編集『知へのステップ 第5版』くろしお出版、2019年